

5日目 9月23日

会 場： 県立浜山球場

第2試合		～3回戦～																	
T E A M		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
石見智翠館		0	0	0	0	0	1	0	0	0							1	6	0
飯 南		1	1	0	0	0	0	0	0	X							2	8	0
(投手―捕手)																			
・ (智)		岩本 ― 迫田																	
・ (飯)		松田康 ― 富田																	
(長 打)		(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (智)		藤瀬、荒木																	
・ (飯)																			
(審判)〔球審〕		流田			〔一塁〕 佐々井				〔二塁〕 中島				〔三塁〕 本田						
(チーム成績)																			
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨	
(智)	33	6	1	2	0	0	3	1	0	0		0		0	0	0	0	0	
(飯)	33	8	2	0	0	0	4	2	4	0		0		0	0	0	0	0	

「飯南、岩本の投打の活躍で智翠館破る」

1年生大会を制した代が最高学年となった石見智翠館と、1年生時に島根県大会決勝戦を投げたエース岩本率いる飯南の対戦となった。

1回裏、飯南は四球と安打で2死1・2塁とし5番岩本が内角の直球を詰まりながらセンター前に落とす適時打で1点を先制する。さらに2回裏にも四球と犠打で2死2塁とし、1番伊藤が遊撃手後方へ落ちる適時打を放ち1点を加える。飯南は以降も先頭打者の出塁が目立ったが、石見智翠館のエース松田康が粘り強く投げ得点を奪えなかった。

一方の石見智翠館は、飯南のエース岩本に苦しみ5回まで2塁すら踏むことができなかった。しかし、6回表に藤瀬がレフト線に二塁打を放つと、続く荒木も右中間を破る適時二塁打を放ち1点を返す。なおも1死2塁と一打同点の場面で4番富田が右中間へ大きな飛球を放つが、飯南の右翼手吉川のこの試合を決める好捕が飛び出すと、続く松田康が遊飛に倒れ同点に追いつけなかった。石見智翠館は7回以降は再び岩本に抑え込まれ四球による走者1人を出すのがやっとだった。

